

①規格外や低未利用品の有効活用

栃木しゃもを活用した商品開発および販売

未利用資源である栃木しゃもの親鶏を活用して新たな栃木の名産品を作る。

➤ 連携体

農林漁業者 **エンジェルファーム（農業）**

栃木しゃもの親鶏を健康的に飼育し、うまみを逃がさないようなカットやミンチ化を行う。

中小企業者 **(株)山久（飲食料品卸売業）**

栃木しゃもの親鶏を使った商品開発、メニュー提案および販売を行う。

連携参加者 **栃木しゃも普及推進協議会**

栃木しゃもの雛の供給コントロールと栃木しゃものブランド化を行う。

サポート機関等 **(独)中小企業基盤整備機構関東本部**

➤ 連携の経緯

栃木産の地鶏肉を活用した商品を販売したいと考える株式会社山久と、卵を産み終わった親鶏の有効利用を模索してきたエンジェルファームが連携することで、栃木しゃもを使った加工食品の開発および販売に向けた連携を組む。

栃木しゃもの認知度を向上させ、他の養鶏業者を含めた栃木しゃも全体の販売量増加を目指していく。

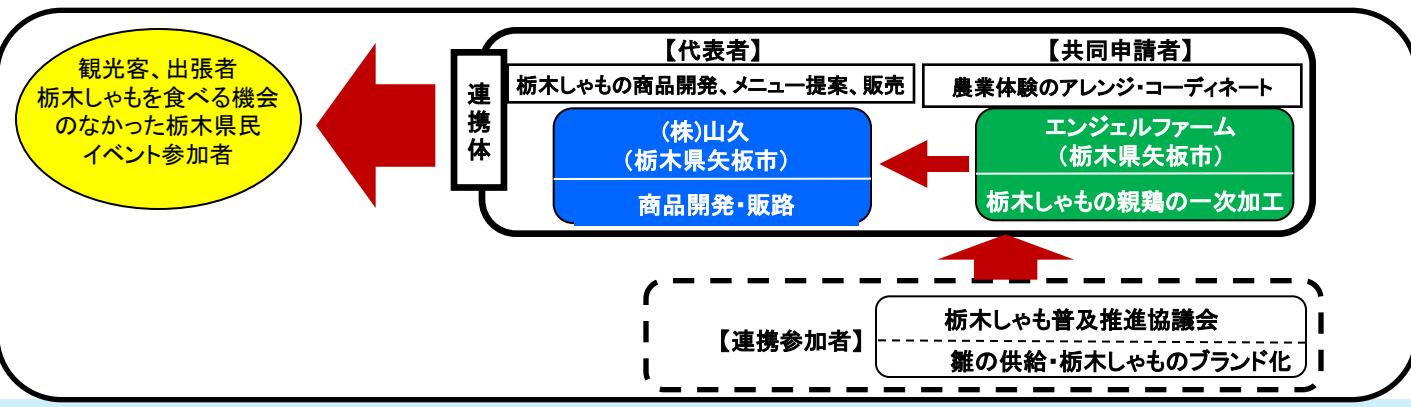
➤ 連携に当たっての課題や工夫等

ブロイラーの鶏肉に比べ価格が高く、もともと食感が固い栃木しゃもの販売を活性化するため、価格が比較的安い親鶏を活用し、ミンチ化することで、課題をクリアしていく。

お互いのノウハウを持ちあって、廉価ながらも栃木しゃもの特徴を際立たせるような商品開発およびメニュー提案を進めていくことで、より多くの消費者に栃木しゃもを口にする機会を増やし、栃木しゃもの認知度を向上させていく。



栃木しゃものつみれ汁



➤ 連携による効果

農林漁業者 **5年で1260万円の売上高増加、栃木しゃもの卵の生産増加**

現在の栃木しゃもの親鶏1,000羽を8,000羽にまで拡大する。卵を産むメス鶏を増やすことができ、卵販売も増加する。

中小企業者 **5年で8345万円の売上高増加、栃木産の地鶏の販売による経営基盤の安定化**

栃木産の地鶏として栃木しゃものブランドを確立し、牛肉や豚肉を補完する商品に育て経営の安定化を図る。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名	: 株式会社山久	所在地	: 栃木県矢板市末広町34-12
TEL	: 0287-43-6733	FAX	: 0287-43-6775
E-mail	: m.tsunakawa@yamakyu.biz	ホームページ	: http://www.yamakyu.biz/